

教科	国語	学年	第1学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
言葉に出会うために	10	<ul style="list-style-type: none"> ●音声の働きや仕組みについて、理解を深めることができる。 ●言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。 →聞き手を意識して声の強弱、間の取り方、言葉の調子、声の大きさや高さを工夫している。 →情景や心情を表す表現に応じて、音読のしかたを工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。 →日常生活やこれまでに読んだ本の中から題材を決め、情報を整理してワークシートに書き込む。 	<ul style="list-style-type: none"> ●音声の働きや仕組みについて進んで理解を深め、小学校での学習を生かして音読しようとしている。 ●場面の展開や心情の変化などについて、描写を基に積極的に捉え、学習の見通しをもって着目した表現や心情の変化について
1 学びをひらく	20	<ul style="list-style-type: none"> ●比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使うことができる。 ●場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、 	<ul style="list-style-type: none"> ●比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。 →図などを使って、心情の変化を整理している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。 →場面ごとに会話や描写を整理して、登場人物の心情や関係の変化を捉えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●場面の展開や心情の変化などについて、描写を基に積極的に捉え、学習の見通しをもって着目した表現や心情の変化について話し合おうとしている。
2 新しい視点で	9	<ul style="list-style-type: none"> ●言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。 ●指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。 →例を基に、指示する語句と接続する語句の種類や働き、使われ方などについて理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) →目的や相手を意識して、情報を集めて整理し、説明に必要な情報を整理している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●集めた材料を粘り強く整理し、学習の見通しをもってわかりやすく説明する文章を書こうとしている。
3 言葉に立ち止まる	14	<ul style="list-style-type: none"> ●文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●比喩などの表現の技法を理解し使っている。((1)オ) →文中で使われている比喩の文脈上の意味を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●進んで比喩について理解し、学習課題に沿って言葉について考えを深めようとしている。
4 心の動き	12	<ul style="list-style-type: none"> ●場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「読むこと」において、場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●進んで質問しながら話の内容を捉え、学習したことを生かして話を引き出そうとしている。

5 筋道を立てて	19	<ul style="list-style-type: none"> ●原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 →適切な根拠や、意見と根拠の結び付きについて理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。 →情報を整理し、自分の考えを裏づける資料やデータを選び、出典の示し方に気をつけながら引用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「書くこと」において、根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。 →集めた資料やデータを根拠として明確に示しながら、自分の考えを書いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●根拠を明確に示すことを粘り強く考え、学習の見通しをもってレポートを作成しようとしている。
6 いにしえの心にふれる	15	<ul style="list-style-type: none"> ●音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、古文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しむことができ 	<ul style="list-style-type: none"> ●古典にはさまざまな種類の作品があることを知っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●進んで古文を音読し、今までの学習を生かして描かれている古典の世界を想像しようとしている。
7 価値を見いだす	13	<ul style="list-style-type: none"> ●目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈することができる。 ●説明の文章を読み、理解したことや考えたことを報告したり文章にまとめたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 ●比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している。 →目的に沿って必要な情報を結び付け、要約している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●必要な情報に着目して、粘り強く要約し、試行錯誤しながら自分の考えを文章にまとめようとしている。
8 自分を見つめる	8	<ul style="list-style-type: none"> ●言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●事象や行為、心情を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●文章の構成や展開、表現の効果について積極的に考え、学習の見通しをもって別の人物の視点から文章を書き換えようとしている。

教科	国語	学年	第2学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
一 広がる学びへ	15	<ul style="list-style-type: none"> ●小説を読み、引用して解説したり、考えたことなどを伝え合ったりする。 ●説明や提案など伝えたいことを話したり、それらを聞いて質問や助言などをしたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●登場人物どうしの関係や人物像を図式化して整理している。 ●意見と根拠を区別して捉え、適切な根拠の在り方について理解を深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定のしかたなどを捉えている。 ●発言者の立場を踏まえ、それぞれの意見と根拠を整理して考えをまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●登場人物の設定のしかたなどを積極的に捉え、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。 ●進んで意見と根拠の関係を整理しながら聞き、今までの学習を生かして根拠の適切さなどについて検討しようとしている。
二 多様な視点から	11	<ul style="list-style-type: none"> ●文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係などを捉えることができる。 ●文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●文章を構成する六つの部分の関係を図式化して整理している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●文章中の図表やグラフが何のために示されているのかを、対応する文章を基に考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●積極的に文章と図表などを結び付けて内容を解釈し、学習の見通しをもって考えたことを話し合おうとしている。
三 言葉と向き合う	13	<ul style="list-style-type: none"> ●抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ●文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「書くこと」において、表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる短歌になるように工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●文章を読んで理解したことや考えたことを進んで知識や経験と結び付け、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。
四 人間のきずな	15	<ul style="list-style-type: none"> ●登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●話や文章の構成や展開について理解を深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●登場人物の言動の意味について粘り強く考え、今までの学習を生かして作品の印象を伝え合おうとしている。
五 論理を捉えて	12	<ul style="list-style-type: none"> ●論説の文章を読み、理解したことや考えたことを説明したり文章にまとめたりする。 ●多様な考えができる事柄について意見を述べるなど、自分の考えを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ●意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「読むこと」において、文章の構成や論理の展開について考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●論理の展開について粘り強く吟味し、学習の見通しをもって筆者の主張に対する自分の考えを文章にまとめようとしている。

六 いにしえの心を訪ねる	11	<ul style="list-style-type: none"> ●古典作品などを読み、引用して解説したり、考えたことなどを伝え合ったりする。 ●多様な考えができる事柄について意見を述べるなど、自分の考えを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ●作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●登場人物の言動の意味について進んで考え、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。
七 価値を語る	15	<ul style="list-style-type: none"> ●観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えることができる。 ●言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●進んで観点を明確にして文章を比較し、学習の見通しをもって考えたことを文章にまとめようとしている。
八 表現を見つめる	28	<ul style="list-style-type: none"> ●文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 ●言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。 ●「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●登場人物の言動の意味などについて粘り強く考え、学習の見通しをもって作品の魅力を文章にまとめようとしている。 ●学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。

教科	国語	学年	第3学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
一 深まる学びへ	16	<ul style="list-style-type: none"> ●文章の種類を踏まえて、物語の展開の仕方を捉えることができる。 ●学習した語句を文章中で用い、語彙を豊かにすることができる。 ●歴史的背景に着目しながら、「論語」を読み受け継がれてきた 	<ul style="list-style-type: none"> ●抽象的な概念を表す語句などを用いて、登場人物の人物像を表している。 ●基本的な訓読方法について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●文章の種類を踏まえて、物語の展開のしかたなどを捉えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●物語の展開のしかたを粘り強く捉え、今までの学習を生かして読み深めた感想を交流しようとしている。 ●人間の生き方についての考え方を自分たちと関連付けて考えようとしている。
二 視野を広げて	9	<ul style="list-style-type: none"> ●具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる 	<ul style="list-style-type: none"> ●資料から得られた事実とその解釈、それを基に考えたことを、自分の言葉で書き出している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●論理の展開や意見と根拠、それらを結び付ける「理由づけ」などを粘り強く考え、学習課題に沿って説得力のある小論文を書こうとしている。
三 言葉とともに	8	<ul style="list-style-type: none"> ●表現のしかたを考えるなど、自分の考えがわかりやすく伝わる俳句になるように工夫することができる。 ●俳句の表現意図による語句の使い分けに着目し、語感を磨くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●語句の選び方や表現のしかたに着目して俳句を読み、筆者の評価のしかたを捉えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●進んで表現のしかたなどを評価し、学習課題に沿って鑑賞文を書いたり俳句を創作したりしようとしている。
四 状況の中で	10	<ul style="list-style-type: none"> ●自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●文学作品を読むことが、自分の人生や自分が生きている社会について深く考えるきっかけとなることに気づいている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自分の知識や経験と比べたり、語り手や人物の立場、時代背景などを変えて読んでみたりして、作品のもつ特性や価値を探っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●文章を批判的に読むことに積極的に取り組み、今までの学習を生かして小説を批評したり、自分の考えをまとめたりしようとしている。
五 自らの考えを	9	<ul style="list-style-type: none"> ●表現のしかたを考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●選んだ題材を多角的に分析し、自分の考えと結び付け具体例を考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「書くこと」において、表現のしかたを考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように、粘り強く工夫し、学習の見通しをもって批評文を書こうとしている。

六 いにしえの心を受け継ぐ	8	<ul style="list-style-type: none"> ●文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えることができる。 ●作品の歴史的背景に注意して読み、古典の基本的な事項をおさえる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●作者や作品について興味をもち、俳句と地の文との関係に注意しながら読み、作者の思いを想像している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●読むことJにおいて、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●人間、社会、自然などについて進んで自分の意見をもち、今までの学習を生かして発表したり文章にまとめたりしようとしている。
七 価値を生み出す	10	<ul style="list-style-type: none"> ●進行のしかたを工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●複数の発言の共通点を結び付けて、一つの提案にまとめたり、複数の発言の中からよい点を取り上げたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●提案を分類・整理し、観点を決めて検討したり、互いの意見の長所を生かしたりして話し合っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●合意形成に向けて粘り強く考えを広げたり深めたりし、学習の見通しをもって話し合おうとしている。
八 未来に向かって	15	<ul style="list-style-type: none"> ●場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自分で設定したテーマと内容、目的に合う文種を決め、冊子を編集している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自分が伝えたいことが効果的に伝わるように、場に応じて工夫しながら話している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●粘り強く言葉を選んだり構成を工夫したりし、今までの学習を生かして、文章にまとめたり、友達の発表を聞いて質問したり評価したりしようとしている。